

2011年  
11月号

# Mini-WAN

～三河港湾事務所より～



国土交通省中部地方整備局  
三河港湾事務所発行(No.52)



Mini-WANとは

港や海に関連する新鮮な話題を中心に、地元の皆さんとのつながりを大切にする広報誌です。

## ☆CONTENTS☆

### ■最近のトピックス

- 川と海のクリーン大作戦が行われました
- みなとオアシスがまごおり
- 第7回三河湾部会が開催されました
- 事業評価監視委員会
- 第35回国際自動車コンプレックス研究会の交流会が開催されました
- 三河港モーターショーが開催されました
- 「海をきれいにするための一般協力者の奉仕活動表彰」
- 御津臨海企業懇話会設立
- 浜松・竜崎寺小学校5年生が三河港を見学しました
- 三河港・衣浦港で地震・津波対策検討会議が開催されました

### ■編集後記

## ☆最近のトピックス☆

### ○川と海のクリーン大作戦が行われました



大勢の参加者の皆さんとの記念写真

トヨタ自動車さんを中心に多くの企業の方の参加もあり、本当に多くの方が海岸清掃の場に参加していただきました。

午前10時から1時間程の清掃活動でしたが大勢の参加もあり、みるみるうちにゴミが拾い集められていきました。かなりの量のゴミが集まりましたがそれでも海岸にはまだまだゴミが落ちています。きれいな海を取り戻すために引き続き活動を続けていきたいと思えます。

10月16日、渥美半島の先端に位置する西の浜海岸にて環境ボランティアサークル亀の子隊と共同で「川と海のクリーン大作戦」が行われました。

これは、以前のようなふるさとの美しい川や海を取り戻し、次世代の子どもへと受け継いでいくことを目的に、地域住民の方々と一体となって川原や海岸の清掃を行う活動です。

当日の天気は前日まで心配されていた雨もすっかりあがり、快晴に恵まれました。今回は

## 「海とみなとの相談窓口」全国共通フリーダイヤル

おいに よくなれ みなと  
**0120-497-370**

受付時間※/9:00～12:00と13:00～17:00(土・日・祝祭日を除く)

※一部の地域を除きます。



国土交通省中部地方整備局  
三河港湾事務所

〒441-8075 愛知県豊橋市神野ふ頭町1番地1  
TEL(0532)32-3251 FAX(0532)32-5049

衣浦港事務所

〒475-0831 愛知県半田市11号地2番地  
TEL(0569)21-2311 FAX(0569)21-2312

WEB <http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp>

E-mail [info-mikawa@pa.cbr.mlit.go.jp](mailto:info-mikawa@pa.cbr.mlit.go.jp)

●全国どこからでも、この電話番号で最寄りの『海とみなとの相談窓口』につながります。

## ○みなとオアシスがまごおり SEA SIDE JAZZ FESTIVAL



8月18日、みなとオアシス蒲郡運営協議会主催、がまごおり市民音楽祭実行委員会共催にて「2011 みなとオアシスがまごおり SEA SIDE JAZZ FESTIVAL」が蒲郡市のみなとオアシスエリアで開催されました。本イベントは平成19年度から開催されており、今年で5回目を迎えました。

当日は Triple H Big Band、 UNDERGROUND Sax quartet、 Mikawa Gumi、 SPIRAL、 ミッチ武井の5組が出演しました。

秋を感じる夜風の中、沈む夕日と海辺に係留するヨットを眺めながら、約300人の来場者がジャズを堪能されました。



夕暮れにJAZZを楽しむ会場の様子

## ○第7回三河湾部会が開催されました

9月28日、第7回伊勢湾再生海域検討会三河湾部会（事務局：三河港湾事務所、愛知県建設部港湾課）を開催しました。



会場の様子

三河湾部会においては、伊勢湾再生海域推進プログラム（平成20年3月）に位置づけられた「多様な生物がいきづくうみの保全」に向け、三河湾において大きな懸念材料である※「貧酸素水塊」の抑制に効果が期待できる方策等について検討を進めるものです。今回の検討会より愛知県建設部港湾課が事務局に加わりました。部会長である中田教授（東海大学海洋学部）の議事進行のもと、事務局から提案した「干潟・浅場造成地の検討」「大塚地区深堀跡修復」に対する活発な意見・議論が交わされました。

次回の開催は平成24年2月を予定しています。

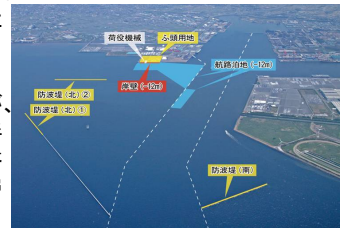
※貧酸素水塊（ひんさんすずいかい）：海水中の酸素がほとんどなく魚介類が生息できない水域の事を言います。

## ○事業評価監視委員会

10月7日、中部地方整備局事業評価監視委員会が開催され、当事務所において整備中の、「神野地区国際物流ターミナル整備事業（豊橋市）」が評価対象事業として審議されました。

事業評価とは、投資の効率的、公平かつ公正な遂行に当たり、社会的、経済的な観点から投資の妥当性を判断するために実施するものです。

通常、事業評価後に一定期間を経過したものについて行いますが、今回の当事務所における案件については、三河港港湾計画変更に伴う事業変更ということで審議していただきました。委員の質疑応答を経て当事業については了承していただきましたので、今後も一層の事業推進を図ってまいりますのでご協力をお願いいたします。



## ○第35回国際自動車コンプレックス研究会の交流会が開催されました

9月29日、豊橋市名豊ビルにて第35回国際自動車コンプレックス研究会の交流会が開催されました。次世代自動車の動向と三河港地域をテーマとして2人の講師を招いて講演が行われました。

1人目の講師である経済産業省中部産業局次世代自動車室の亀井敏之氏は次世代自動車の今後の展望や、普及に伴う新たなビジネスの可能性について述べられました。2人目の講師の有限会社ハマ零の山脇一氏は漏電・浸水対策など電気自動車の安全性について言及し、「電気自動車は安全確保のためのターゲットが確立しておらず、安全性の確保は今後の課題」と述べられました。



亀井氏

山脇氏

## ○三河港モーターショーが開催されました



ミスみなと3女王との記念写真

10月8日、豊橋市神野新田町のホテルシーパレスリゾートにて「三河港モーターショー」を開催しました。

本モーターショーは、世界有数の国際自動車港湾である三河港を利用する自動車メーカー等が開発した自動車を展示することにより、自動車港湾三河港の実績や役割を広く市民に知ってもらうとともに、輸入自動車やハイブリッド車などを実際に触れてもらうことで自動車メーカー・ディーラーとの交流の促進を図るため平成21年度から開催しています。

当日は、豊橋市に本社を置くフォルクスワーゲンやトヨタ、スズキ等の8社21台の自動車や三河港の国際自動車港湾としての実績が紹介されたパネルが展示され、約1,000人の市民で賑

わいました。そのほかにも、会場では、ハイブリッドカーを使用した燃費コンテストや子供向けのクイズラリー、キーホルダー作成体験などが行われました。また、ミスみなとの3女王が来場し、撮影会のモデルを務めモーターショーを大いに盛り上げました。

## ○「海をきれいにするための一般協力者の奉仕活動表彰」

10月1日、原田市立若戸小学校が「海をきれいにするための一般協力者の奉仕活動表彰」の三河港湾事務所長表彰を受賞されました。

今回の表彰の目的は、近年において地球規模での海洋環境保全が課題となっている中で沿岸域の住民、船舶利用客、海を愛する方々による海をきれいにするための奉仕活動を顕彰し、国民により一層海への親しみを深めてもらうところにあります。

原田市立若戸小学校は、長年、地元の池尻海岸の清掃活動を実施すると共に海を大切にすることを啓発し環境保全に対する理解を深められており、今回の三河港湾事務所長表彰の受賞となりました。

今回の表彰式は平成23年度の若戸校区親子地引網集会の開会の場で行われ、地引網を体験した後、参加者全員で海岸清掃が行われました。



表彰の様子

## ○御津臨海企業懇話会設立



設立総会の様子

10月11日、「御津臨海企業懇話会」の設立総会が御津生涯学習会館で開かれました。当懇話会は、豊川市の臨海部に立地する企業が、情報交換を通じて相互の連携強化を図り、防災に関する認識を深めていくことなどを目的としています。

当事務所長は当懇話会のオブザーバーとして参加することになりましたので、今後とも協力して役立てればと考えています。



## ○浜松・竜禪寺小学校5年生が三河港を見学しました

10月7日、浜松市立竜禪寺小学校5年生85名が三河港へ社会見学に訪れました。児童達は社会科の学習で、「自動車工業や貿易」について学んでおり、この日は、車の製造工場の見学後、バスから神野ふ頭地区の見学、そしてポートインフォメーションセンター・カメリアでは、展望台から三河港についての説明を聞いて、日本の貿易における三河港の役割についての学習を行いました。

カメリアの展望台からは、輸出前の車が整然と並べられる様子や、大きなントリークレーンなど、初めて見る光景に驚き、興味深く説明を聞いていました。

港を身近に感じ、また大きな役割をもっていることを実感してもらえる学習になったのではないかと思います。



カメリアの前の広場で

## ○三河港、衣浦港で地震・津波対策検討会議が開催されました

10月14日、三河港湾事務所管内の港湾を対象に地震・津波対策検討会議を開催しました。

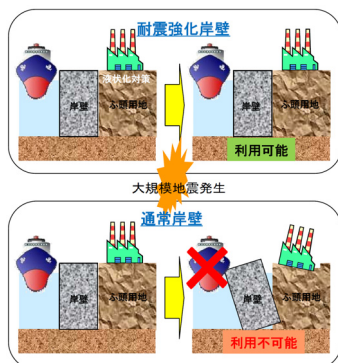
午前中は豊橋市ポートインフォメーションセンターで豊橋技術科学大学青木伸一教授を座長に、午後は衣浦港湾会館で名古屋大学大学院水谷法美教授を座長にそれぞれ第1回目の会合を開きました。

この会議の目的は、「港湾における総合的な津波対策のあり方（中間とりまとめ）」（H23.7.6交通政策審議会港湾分科会防災部会）などがとりまとめられ、港湾における地震・津波対策の基本的な考え方が示されたことを受け、他地域とも連携しつつ、東海・東南海地震等による被害の軽減対策など、特に対策が急がれる中部地方の港湾における地震・津波対策を検討するために行うものです。

検討内容としては、最新の知見に基づく災害を前提とした防災・減災目標を明確化し、これを踏まえた津波等防護施設や主要防波堤等に関する現状評価や対策工法の技術的検討を通じ、必要に応じて対策の見直しを行いません。避難対策の強化や被災時の港湾活動を継続するための港湾BCPの策定等に関する方針についても明確化します。

臨海部で働く人命のため、道路施設や港湾施設の耐震強化要望やGPS波浪計の伊勢湾口への設置及びそれを活用した情報提供といった要望や今後の会議で公表される津波シミュレーションへの期待等発言がありました。

第2回目の会議では各港湾の地震・津波対策の基本方針案を提示したうえで議論していくということで会議はまとめられました。



三河港地震・津波対策検討会議の様子



衣浦港地震・津波対策検討会議の様子

### ☆編集部記☆



朝・晩の空気もヒンヤリと感じられ、いよいよ秋も本番ですね。「読書の秋」、「食欲の秋」などいろいろ形容される秋ですが、皆さんは「秋」と聞いて何を思い浮かべますか？「秋」といえば「祭」の季節でもあります。先日、町内の祭があり、小1の息子と一緒に「宵祭」、「本祭」と2日間の祭を堪能しました。小さな町内の祭なのですが神輿行列や神事もあり、楽しさと厳かさの中に地域の伝統が感じられました。こうした良い伝統はいつまでも続いて欲しいものです。

皆様も「祭の秋」を通して日本の伝統に触れてみてはいかがでしょうか？

三河港湾事務所ホームページはこちら <http://www.mikawa.pa.cbr.mlit.go.jp>

